元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより

【学校教育目標】　進んで学習する子（知）　仲良く助け合う子（徳）　健康で明るい子（体）

〒　351-0007　朝霞市岡３丁目１６番１３号　TEL048-461-0042
令和５年　２月１日〈２月号〉　児童数　７１２名（1/26現在）

学びを見取る　成長を感じる

校長　宮腰 高子

先日の授業参観に多くの保護者の皆様にご来校いただきました。大変に寒い中での参加を有り難うございました。参観により、お子さんやクラスの成長を感じていただけていれば幸いです。

授業参観の日程に合わせ、各学級の廊下壁面を利用して校内書きぞめ展が開催されました。今年は、１年生は「かるた」、２年生は「お正月」をフェルトペンで、３年生は「しぜん」、４年生は「なの花」、５年生は「明るい光」、６年生は「緑の大切」を筆で大きく書きました。普段を思えば、字を書くことは特別なことではありません。何気なく鉛筆で文字を書いたり、タブレットに打つのは簡単です。しかし、書きぞめでは、普段とは違うペンや筆で一文字一文字の筆の入りから、筆の運びや払いや止めまでお手本を参考にバランス良く書いていきます。そして、学年と自分の名前を入れて完成させます。自分を表す大切な「名前」を心を込めて書く。それもとても大切で素晴らしいことだと思います。廊下に並んだ作品は一人一人の生命力にあふれ、新年を迎え今年も心も体もたくましく、健康に学校生活を送っている様子を感じさせられました。

さて、健康と言えば、新型コロナウイルスについては政府からは感染症法上の位置づけを、この春にも「5類」に引き下げると方針が出されており、その動向に注目しているところです。市内の現状としては新型コロナウイルスやインフルエンザが依然流行しており、学級閉鎖等の情報も入ってきています。まだまだ寒い日が続き、空気も乾燥していて、体調を崩しやすい時期と言えます。学校では感染症対策の指導をしながらも学びを止めない取組を引き続き行います。ご家庭でも、話題にしていただきますようお願いいたします。

２月３日は節分です。節分は「季節を分ける」、すなわち立春の前日のことです。本来は立夏・立秋・立冬の前日も節分となりますが、現在では１年の始まりである春の節分のみを表すようになっています。節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。季節の変わり目には邪気が生じると考えられているため、それを追い払う意味で「豆まき」が行われているとのことです。諸説ありますが、豆まきは平安時代の宮中で大晦日に厄や災難を祓い清める「追儺(ついな)」という行事が、室町時代には豆をまいて悪い鬼を追い出す行事に発展し、民間にも定着してきたものといわれています。語呂合わせで「魔目(まめ)」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」にも通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあるようです。さあ、今年の節分はどんな鬼を退治したいですか。子供たちに声をかけたところ「朝起きられない鬼」「忘れ物鬼」「もんく鬼」「やり過ぎ（ゲーム・YouTube・SNS等）鬼」等を答えてくれました。昔ながらの鬼もいれば、今時の鬼もいます。上手く退治できると良いです。

大きな行事や日々の小さな出来事、子供たちは色々な場面で考えたりやってみたりして学んでいます。そして成長を繰り返しています。お子さんのかけがえのない「今」の成長に気づき感じる喜びを、学校も保護者も地域も本人も共に沢山味わう朝霞第二小学校を目指して参ります。

【避難訓練】

【赤い羽根共同募金】

【朝霞市小・中学校図工美術展】